

経営比較分析表（平成28年度決算）

北海道 豊浦町

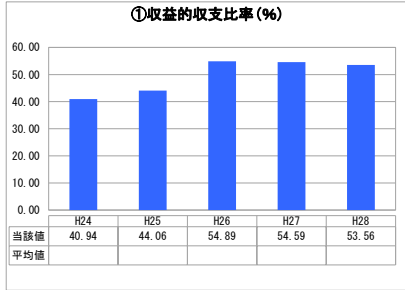
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20 ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	4.21	100.00	3,080

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,180	233.57	17.90
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
176	0.10	1,760.00

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



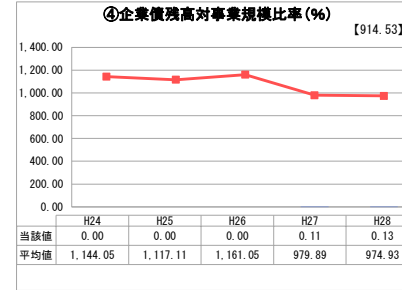
「単年度の収支」



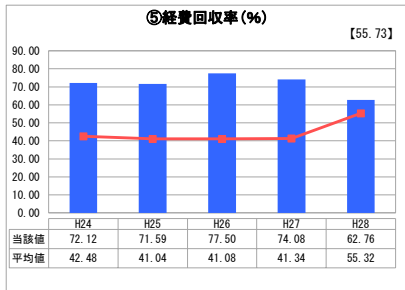
「累積欠損」



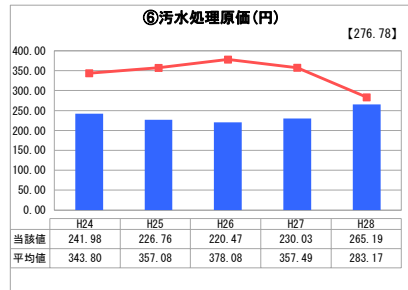
「支払能力」



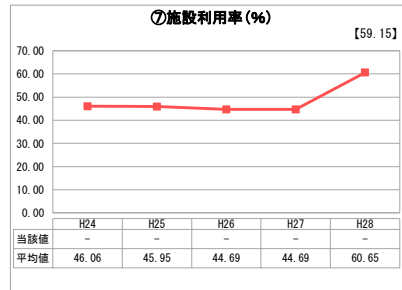
「債務残高」



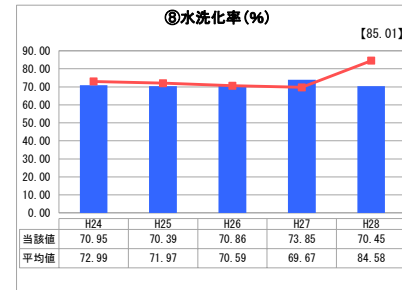
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

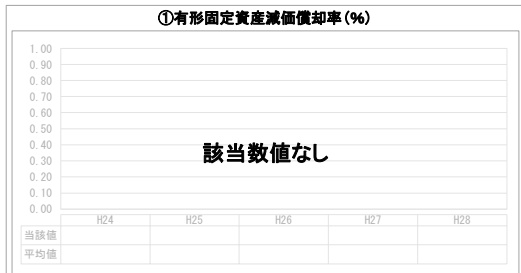


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

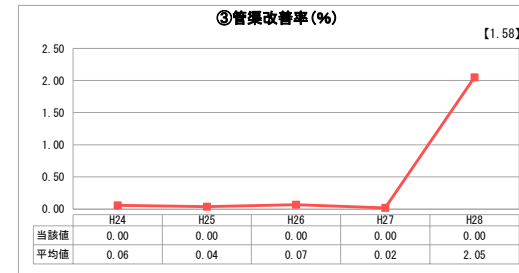
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

前年度同様に収益的収支比率が年々減少傾向にあり、依然として繰入金に依存していることから、平成29年4月から料金改定を実施し、収入の改善を見込んでいる。経費回収率、汚水処理原価、施設利用率は改善傾向がみられることから、今後も更なる経費回収及び経費節減の徹底に努め、経営の効率化を図る。

2. 老朽化の状況について

現状として大規模な改修等が必要な不具合箇所は発生していないが、供用開始後17年を経過するため、平成31年度に農業集落排水施設の機能診断事業を実施予定であることから、老朽対策を念頭に置いた維持管理を図っていく必要がある。

全体総括

料金改定により、より安定的な経営を図っていく。更なる経費回収率、汚水処理原価、施設利用率の向上に取り組み、経費回収及び経費節減の徹底に努める。今後の農業集落排水区域の人口減少を考慮し、適切な施設・管路の維持管理を徹底し、効率的な経営を図る。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。